

経営比較分析表（令和6年度決算）

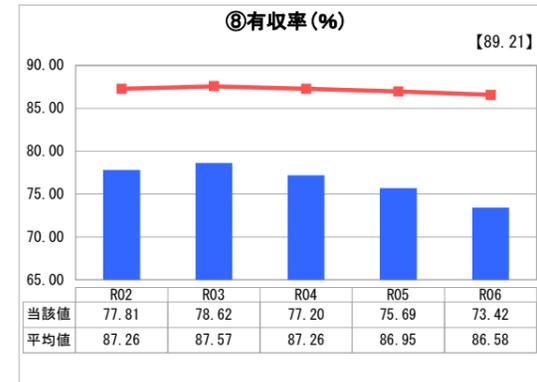
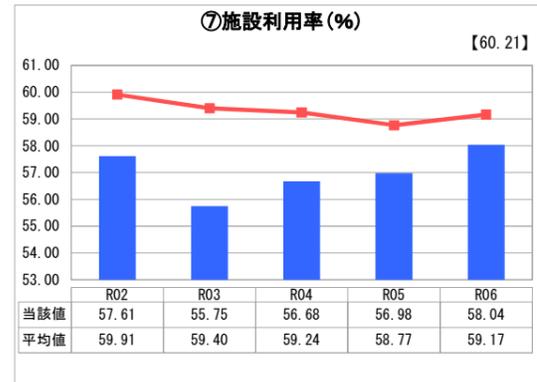
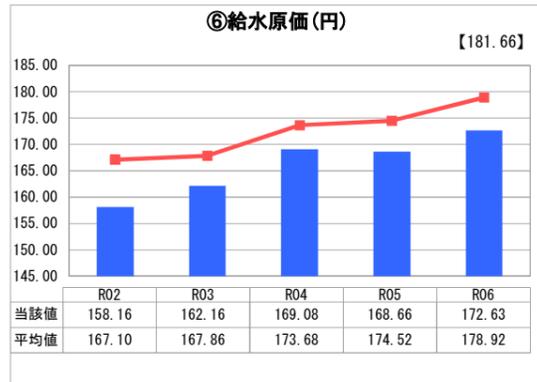
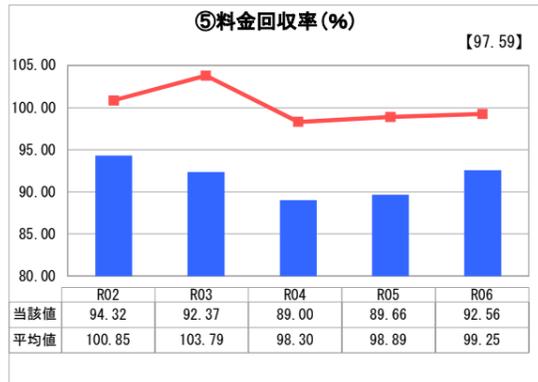
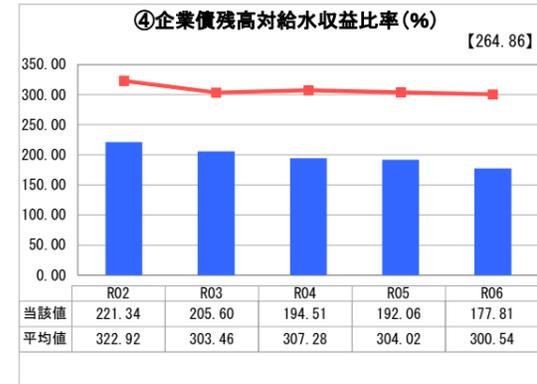
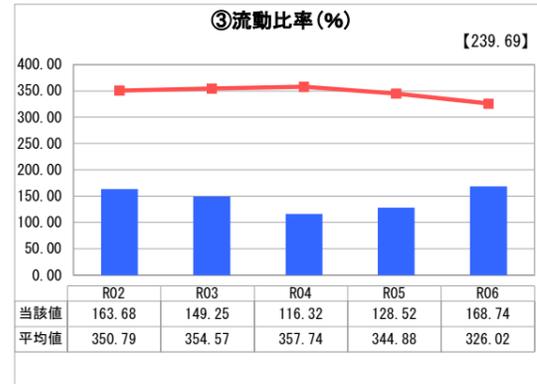
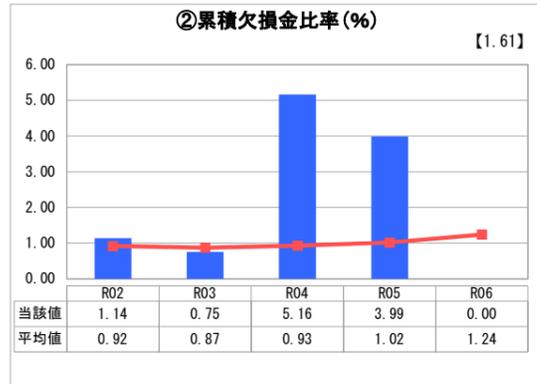
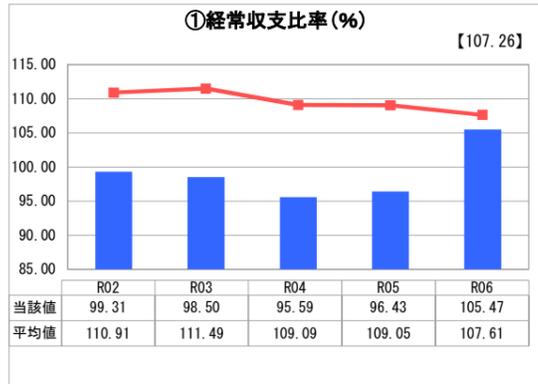
群馬県 渋川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	82.90	99.21	2,849	

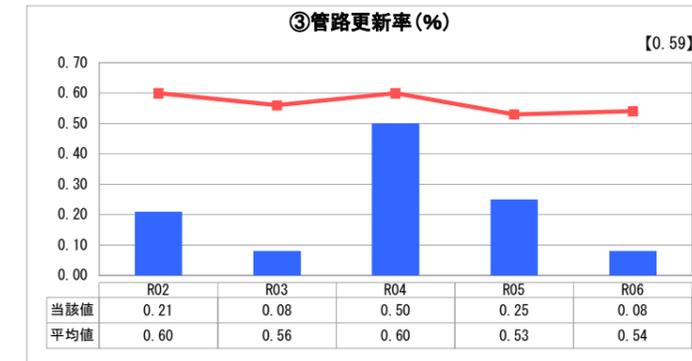
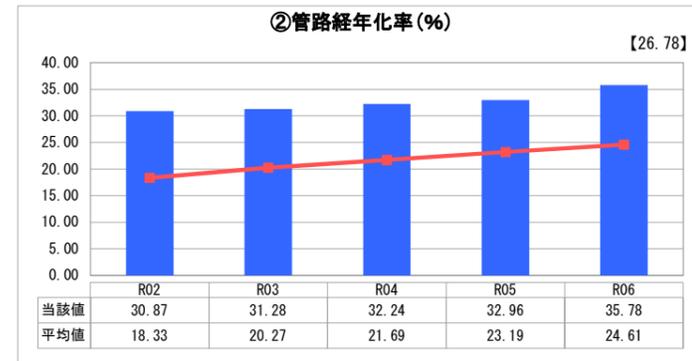
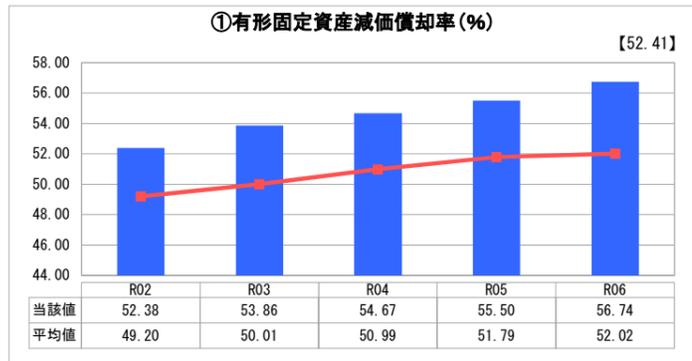
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,090	240.27	300.04
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
71,196	136.33	522.23

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
料金改定により、比率も100%を上回った。今後は、類似団体平均を目標に健全経営に努める。
- ② 累積欠損金比率
今後も、健全経営に努める。
- ③ 流動比率
100%を上回っており短期債務の支払能力は問題ない。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
類似団体平均を下回っている。今後企業債を計画的に利用し、施設更新を進める必要がある。
- ⑤ 料金回収率
料金改定により増加したが、引き続き経費削減や有収率向上に取り組む必要がある。
(基本料金減免を実施。減免前99.46%)
- ⑥ 給水原価
経費削減や経営の合理化等を図る。
- ⑦ 施設利用率
増加傾向ではあるが、類似団体平均値を下回っている。施設の統廃合を検討し、ダウンサイジングを図る。
- ⑧ 有収率
減少が続いているため、改善が急務である。漏水調査や管路更新等を計画的かつ効率的に実施し、速やかな改善を目指す。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
毎年、類似団体平均を上回っており、老朽化が進んでいることが分かる。計画的な更新が必要である。
- ② 管路経年化率
ここ数年、他事業関連の管路移設が多く、老朽管更新が先送りとなっている。重点的かつ計画的な更新が不可欠である。
- ③ 管路更新率
ここ数年、他事業関連の管路移設が多く、老朽管更新が先送りとなっている。重点的かつ計画的な更新が不可欠である。

全体総括

経営収支比率については、料金改定により100%を上回った。今後は、類似団体平均を目標に健全経営に努める。
施設利用率は、増加傾向ではあるが統廃合等を検討し、ダウンサイジングを図りたい。
また、施設の老朽化が進んでおり、有収率や料金回収率の低下に影響していると考えられるため、アセットマネジメントを含めた経営戦略に基づき、施設の更新・長寿命化を進める。
ここ数年、他事業関連の管路移設が多く、老朽管更新が先送りとなっているため、企業債を活用し、重点的かつ計画的に更新を進めたい。